

八峰町予算概要をお知らせします

一般会計予算は64億5,200万円

令和5年度の一般会計予算は前年度より2億1,000万円多い総額64億5,200万円となりました。

今年度の当初予算編成に当たっては、合併以降、施設の統廃合や事務事業の見直し、定員管理などの行財政改革に取り組んできたものの、今後の財政運営については、主たる歳入である普通交付税は人口減少の影響を受け、厳しい局面が続くことが予想されることから、現在の行政サービス水準の提供が相当困難になると想定され、事務事業の取捨選択をこれまで以上に求められている状況にあることを念頭に、事務事業に当たることといたしました。

令和3年3月に策定した「第二次八峰町総合振興計画」後期基本計画を念頭におき、町の将来像「白神の自然と人とで創るやすらぎのまち」実現のための通年予算を編成いたしました。

中でも、町が令和2年3月に策定した「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく施策については、人口減少の急速な進行を抑制するとともに、若い大人の方々の増やしていくため、引き続き産業振興や定住・移住対策、少子化対策に向けた取り組みを推進する予算編成としています。

その他 2億6,412万2千円 (26.7%増)

【主な事業】
議会費 8,242万8千円
諸支出金 1億3,069万8千円

公債費 7億9,520万4千円 (7.3%減)

公債費とは町債などの返済金のことです。

教育費 8億2,648万7千円 (5.5%増)

【主な事業】
教育ICT運用業務委託 1,751万2千円
スクールバス委託料 1億76万8千円

消防費 1億7,022万1千円 (10.7%増)

【主な事業】
災害対策費補助金 1,573万円
小型動力ポンプ積載車等整備事業 4,110万7千円
消火栓工事費負担金 1,677万円

土木費 6億9,103万6千円 (3.0%減)

【主な事業】
道路改良事業 300万円
橋梁維持関係 7,030万円
除雪機械購入 2,500万円

総務費 11億5,324万7千円 (8.9%増)

【主な事業】
旧八森小学校解体事業 9,520万円
岩館地区防災コミセン建設工事 3,275万円

民生費 10億1,778万円 (2.8%増)

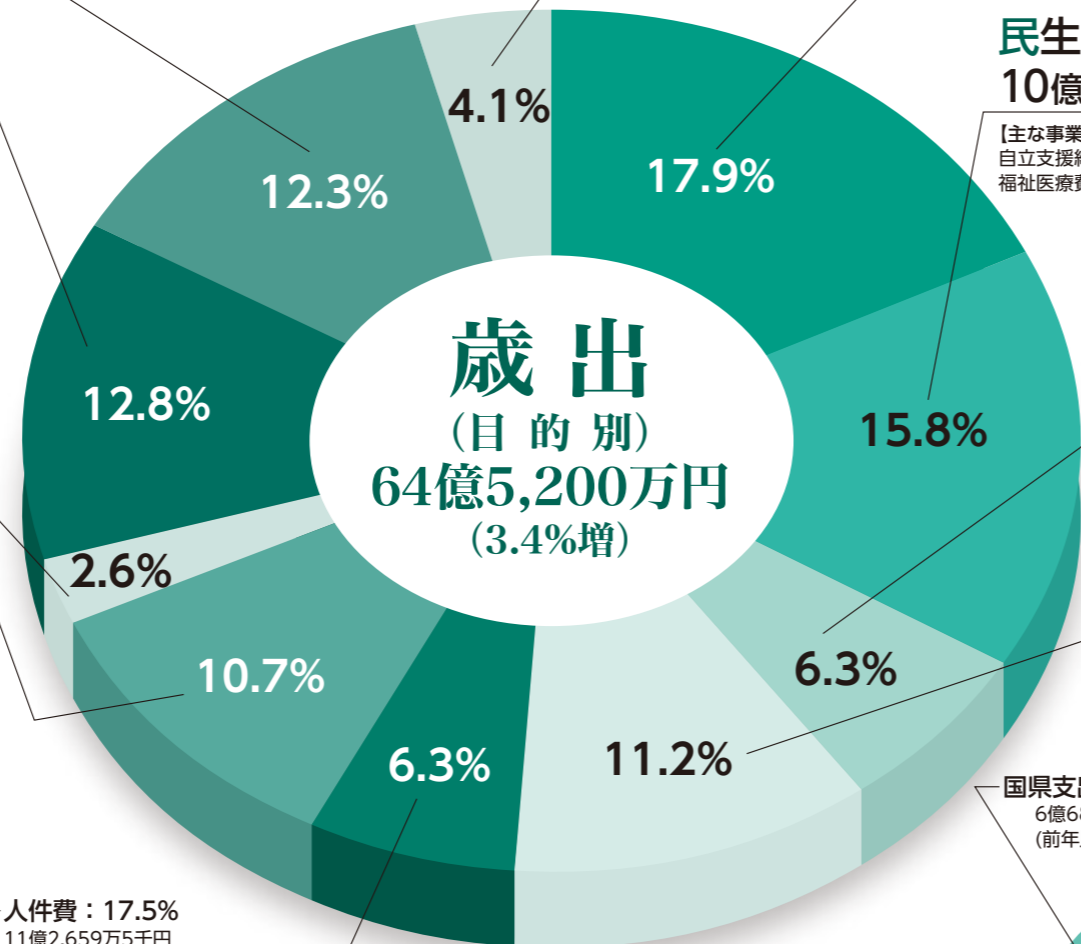
【主な事業】
自立支援給付費等扶助 2億5,755万円
福祉医療費 6,768万円

衛生費 4億850万7千円 (7.1%減)

【主な事業】
予防接種事業 1,440万4千円

農林水産業費 7億1,998万5千円 (4.9%増)

【主な事業】
基幹水利施設ストックマネジメント事業 5,718万4千円
森林境界明確化・資源解析事業 2,347万円



国県支出金: 9.4%

6億688万8千円 (前年比: 16.6%減)

町債: 11.5%

7億4,210万円 (前年比: 40.2%増)

町税: 9.4%

6億569万6千円 (前年比: 3.5%増)

分担金および負担金: 0.1%

831万9千円(前年比: 5.4%減)

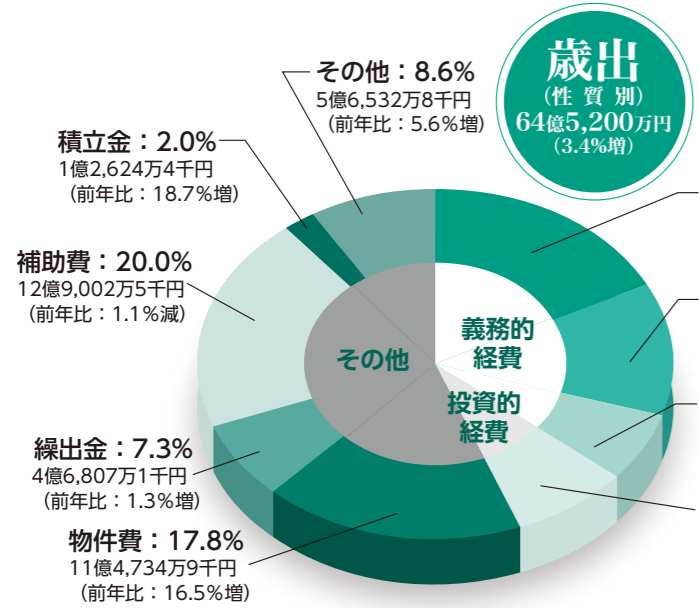
歳入 64億5,200万円 (3.4%増)

自主財源 16億6,549万7千円 25.9%

【主な項目】
町税 6億5,699万6千円 (前年比: 3.5%増)
寄附金 1億3千円 (前年比: 25.0%増)
繰入金 5億9,237万8千円 (前年比: 5.8%増)
繰越金 3,000万円 (前年比: 0.0%)
諸収入 2億5,864万4千円 (前年比: 3.7%減)

依存財源 47億8,650万3千円 74.1%

【主な項目】
地方交付税 31億9,489万円 (前年比: 1.3%増)
地方譲与税等 2億4,262万5千円 (前年比: 4.2%増)



商工費 4億541万1千円 (15.4%増)

【主な事業】
旧源泉解体整備事業 4,327万4千円
ハタハタ館指定管理委託料 3,500万円

各特別会計の予算額 (単位: 千円、%)

会計別	令和5年度	令和4年度	前年比
国民健康保険	874,572	859,075	2%
介護保険事業	1,281,862	1,360,077	-6%
後期高齢者医療	106,816	108,767	-2%
沢目財産区	23,847	18,670	28%
町営診療所	86,323	80,386	7%
合併処理浄化槽事業	2,524	3,274	-23%
合計	2,375,944	2,430,249	-2%

各公営企業会計の予算額 (単位: 千円、%)

会計別	令和5年度	令和4年度	前年比
簡易水道事業	566,859	501,095	13%
下水道事業	721,586	691,730	4%
合計	1,288,445	1,192,825	8%

令和5年度特別会計予算

町には一般会計とは別に、6特別会計と2公営企業会計があります。令和2年度より、公共下水道事業、農業集落排水事業、漁業集落排水事業の3事業が統合し、1事業会計となっています。

令和5年度の特別会計の予算総額は23億7,594万4千円で、公営企業会計の予算総額は12億8,844万5千円となっています。

(注2) 依存財源とは国や県から交付され、また、町債として町が借り入れるお金です。

歳出

目的別では総務費が11億5,324万7千円でトップ。ついで、民生費、教育費が続いています。また、性質別では人件費、公債費、扶助費の義務的経費が23億3,862万9千円で歳出全体の36.2%を占めています。

(注1) 自主財源とは町が自主的に収入しうる財源をいい、地方税、分担金および負担金、使用料および手数料、財産収入、寄付金、繰入金、繰越金、諸収入がこれに該当します。

歳入

自主財源(注1)の柱である町税は6億5,699万6千円で3.5%前年度より増、分担金および負担金が831万9千円で5.4%の減となる一方で、寄附金は1億3千円で25.0%増となっています。

自主財源全体では16億6,549万7千円で前年度より4.9%増加しており、収入全体のうち自主財源は25.9%となっています。

一方、地方交付税や国・県支出金などの依存財源(注2)の割合は74.1%となっています。収入全体の7割以上が国や県に頼る厳しい財政状況です。